

九州共立大学

スポーツ学部

令和 3 年度

カリキュラムマップ

総合共通科目

(2019~2021 年度入学生)

学是 (学則第1条の2)				本学は、建学の精神「自律処行」、すなわち自らの良心に従い事に処し善を行うことを学とし、この学是に則り、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる人材を育成する。				
スポーツ学部の人材養成及び 教育研究上の目的等 (学則第3条の4)				スポーツ学部及びスポーツ学科は、学是「自律処行」の精神に基づき、幅広い教養を身につけ、かつ専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者を養成することを目的とする。				
卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー:DP)				本学は、学是「自律処行(自らを律することができ、自ら考えて判断し、責任を持って行動する)」を体現し、総合的な教養、特定専門分野に関する知識を身につけ、深い考察力を備えることを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針(DP)を3つの領域(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性)から構成し、各課程を修め、目標を達成した学生に卒業を認定し、学位を授与する。 【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。 【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。 【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。				
教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー:CP)				本学では、学生が大学の卒業認定・学位授与方針(DP)の目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。 【教育内容】 1. 総合共通科目は、「教養教育科目」、「キャリア教育科目」を中心に、現代社会を生き抜くために必要不可欠な幅広い教養、および基礎学力等を体系的に学べるように科目を配置する。2. 専門教育科目は、各学部・学科の専門的知識を修得するために、基礎的内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。また、学問領域を超えた学際的な知識修得科目を配置する。 【教育方法】 1. 学生の主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)が実現されるように、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業などの多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。2. 学外実習等を通じて体験的な学修活動を実施する。 【教育評価】 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価方法に従い単位を付与する。2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。				
スポーツ学部のカリキュラム				卒業認定・学位授与の方針(DP)と授業到達目標との関係〔◎特に関係する ○関係する〕				
科目区分	授業科目名	配当年次	開講学期	授業概要	授業到達目標	【知識・技能】 キャリア教育や教養教育等を通じて現代社会を生き抜くために必要となる教養を身につけている。また、専攻する学問分野における基礎的な知識・技能を修得し、職業人としての基本的な力を兼ね備えている。	【思考力・判断力・表現力】 本学学修プログラムを経て身につけた知識・技能に基づき、自らの考えを組み立て、人と向き合えるコミュニケーション能力を身につけている。また、地域や社会における課題を発見・分析し、他者の意見も踏まえ、解決方法を客観的に考察できる能力を身につけている。	【主体性・協働性】 自らを律し、主体的に物事を考え、責任感を持ち合わせた行動ができる態度を身につけている。また、地域や社会の一員として意識を持ち、他者との協働を通じて物事を達成しようとする協働力を身につけている。
総合共通科目	福原学	1年生	前	学校法人福原学園九州共立大学のスポーツ学部に進ぶ学生の一人ひとりが、将来に対する夢を実現しようと進んでいく上で、創設者である福原軍造先生の建学の精神を理解する。そして、これから社会に向かって大いなる夢と希望を持ち、強く逞しく生きる力を涵養することを目的とする。	①福原学園の歴史や建学の精神を理解する。②九州共立大学スポーツ学部の設置とその理念を知る。③卒業生から見える「学生生活」を知る。	◎	○	◎
総合共通科目	ことばと日本文化	1-2年生	前・後	本講義では、日本の現代文学やサブカルチャーにおけるポストモダンを取り上げる。ポストモダンとは1980年代の日本と欧米において流行した、思想・文学・芸術上の潮流のことである。日本では「ニュー・アカデミズム」と呼ばれ、文学批評や絵画、建築といった幅広い学問分野に影響を与えた。この講義では、活字メディア(文学、思想)に限定されない、非活字メディア(映画、マンガ、アニメ)を含む多角的な視野から、日本のポストモダン文化を考察する。	・日本の現代文化に関するアカデミックな教養を深めることができる。・1980年代の日本近代文学に関する基礎的な知識を得ることができる。・日本のサブカルチャーを批評的に楽しむことができる。	◎	○	○
総合共通科目	ことばと日本文化	1-2年生	前・後	上代の文学から『古事記』『万葉集』を取り上げ、日本の伝統的な詩形である歌(歌謡・和歌・短歌)を講読する。上代は、口誦によって伝えられてきた神話や歌謡などが、『古事記』等に定着する時代である。『古事記』は、単に現存するわが国最古の歴史書という位置づけばかりでなく、その後の文学作品に影響を与えた点においても重要である。現存最古の歌集『万葉集』も同様である。本講義では、上代から現在に至るまで行われている歌をとおして、日本文化を考える視点を提示することを一つの目的とする。	・日本の伝統文化に対する造詣を深めることができる。・文学作品に描かれた人物・情景・心情の表現とその効果を読みとることができる。・文学作品と人間・社会・自然との関係性を理解することができる。・上代文学に関する基本的な知識を得ることができる。・小倉百人一首に関する基本的な知識を得ることができる。	◎	○	○
総合共通科目	ことばと日本文化	1-2年生	前・後	本講義では、主に1920～40年代の日本の詩を取り上げる。1920年代から1940年代にかけての時期には、関東大震災や太平洋戦争など、歴史の転換点となる数多くの出来事があった。このような激動の時代において、日本の詩人たちは、社会の大きな変化と向き合いながら、詩に関するさまざまな試みを行った。本講義では、特に詩の表現(どのように書かれているのか)に注目し、それが、どのような社会的あるいは文化的背景のもとに生み出され、またどのような文学表現上の効果を持つものであったのかを考えることを目的とする。	・日本の詩を自分なりに丁寧に読み解くことができる。・「ことば」による表現と社会や文化の動向との関わりについて考えることができる。・1920～40年代の日本の社会や文化に対する造詣を深めることができる。	◎	○	○
総合共通科目	スポーツの文化	1-2年生	前・後	自然人類学並びに文化人類学視点からスポーツ科学の発展を学び、今日のスポーツ文化を理解できるようになる。	1)社会的視点に立ち、スポーツの発祥から変容を理解できるようになる2)これからのスポーツのあり方を予測できるようになる3)スポーツとは何か、再検討する視点を獲得できるようになる		○	◎

総合 共通 科目	スポーツの文化	1-2年生	前・後	今後のスポーツ界はCOVID-19終息後、以前にも増して活況を呈するようになっていくことに疑いの余地はありません。スポーツ基本法の前文では文化としてのスポーツも強調されています。しかし一方では、ハラスメントの問題などがメディアで連日報道されるようになり、社会に与える影響も少なくない状況へとなっています。このような状況の中、スポーツは人間社会にどのような意味を持つのか理解を深めていくことが改めて問われています。本講義では、スポーツの概念や歴史を踏まえ、現代におけるスポーツのとらえ方（フェアプレーやスポーツマンシップなど）を学びます。	1. スポーツの歴史的背景を学び文化としてのとらえ方を理解する。2. 我が国におけるスポーツの歴史を学び、現代におけるスポーツのあり方を議論できる。3. 今後の生涯スポーツのあり方について、提案できる能力を身に付ける。	○	◎	○
総合 共通 科目	ことばと異文化	1-2年生	前	交通網の発達で海外の国々が身近になった現在、21世紀を生きる皆さんにとって外国の文化を知ることが大切なことです。この講義では、英語圏の国の中でも、特に、イギリスに焦点をあて、イギリス文化を説明して行きます。講義では、イギリス文化関係の専門書を用いて、イギリスの位置や気候からイギリスの繁栄の歴史などまで説明します。	英語圏の文化を学ぶことによって、国際社会で生きて行くことが可能な教養を身につけ、国際情勢に敏感な意識を持つことができるようになる。	◎	◎	○
総合 共通 科目	ことばと異文化	1-2年生	前・後	アメリカは超大国として今なお軍事や経済など、様々な面で世界に多大な影響を及ぼしている。日本とアメリカに関しても時に協力し合い、時に批判し合っておりその例外ではない。しかし、そのイメージとは裏腹に、アメリカは決して建国の当初から強大な国ではなかった。第1～9回目では、時系列順にアメリカ成立以降の道程を当時の文化に触れながら説明する。第10～14回目では、それぞれテーマを絞り、現代のアメリカにおける様々な問題を扱う。	①歴史を学ぶことで、アメリカという国を具体的、客観的に知ることができる。②文学作品や映画などを通してアメリカの文化に触れ、理解することができる。③アメリカにおける諸問題を学び、多文化共生に必要な視点を持つことができる。	◎	◎	
総合 共通 科目	ことばと異文化	1-2年生	後	中国の古典小説『三国志演義』は名言の宝庫と言ってもよい。「三顧の礼」をはじめ、世に知られた名句も多い。この講義では、『三国志演義』にまつわる名句を学習しながら、小説における虚実の組み合わせや英雄豪傑の人物像を理解する。具体的に、「桃園の誓い」や「三顧の礼」「赤壁の戦い」などの名場面を中心に、DVD映像を鑑賞しながら、パワーポイントと配布資料を通して勉強を進めていく。	中国のことばと文化に興味を持ち、三国志物語の面白さを知る。また、中国の社会や文化、及び人々の考え方をより深く理解できる。さらに、学習を通して得られる世界についての情報を深く理解し、現代の日本社会について広い視野から考えられるようになる。	◎	◎	○
総合 共通 科目	ことばと異文化	1-2年生	後	「異文化」がもたらす「外国」や「外国人」との連関で認識されることには一定の批判を向けるとしても、「グローバル化」「ボーダレス化」が一般化した時代を生きる今日の私たちは、日常的に「異文化」の存在を強烈に意識させられています。そうした状況下では多様性の共生が求められる一方で、現実には自らの価値観から外れる他者を排斥する傾向も顕在化しています。本講義では、主にヨーロッパを対象として、歴史、政治、文化的背景などの多様な観点と関連づけながら、「異文化」というテーマに多角的にアプローチします。	1. 「異文化」に対する既存のイメージと現実のギャップを客観化することができる。2. 「文化」を形成する諸要素を認識し分析的に理解することができる。3. 「異文化」間の相互理解のための有効な切り口を見だし、他者への寛容性につなげることができる。	◎	◎	○
総合 共通 科目	ことばと異文化	1-2年生	前	この授業ではアメリカの文化や歴史に関して学びます。アメリカの総人口は3億3006万人ほです。アメリカは日本と違い、多民族国家で、「人種のサラダボール」とも言われています。アメリカについて学ぶということは、多様な異文化について学びを深めるということになります。非白人の合計が、2050年までには白人の人口を上回ると言われています。最近の移民は白人が少なく、ヒスパニック系やアジア系が多いとされており、多様な言語や習慣がアメリカに入ってきています。アメリカの文化や歴史を文学作品、ドラマ、映画、ディスカッション等を通して学び、アメリカの諸々の問題に対しての批判的思考を培います。	①多角的にアメリカの文化、歴史、社会問題に関して理解することで、固定観念にとらわれない、批判的思考を身につけることができます。②アメリカの文化・歴史に関して簡潔に説明できる。③異文化の社会問題に関して、基本的な自分の意見を他者に伝えることができる。④アメリカの文化や歴史的背景が分かるドラマや映画、文学作品などを通して基本的なアメリカの文化等の知識力が身につく、基礎的な英文読解力や英語リスニングスキル等の語学力が向上する。	◎	◎	○
総合 共通 科目	情報文化論	1-2年生	後	犬も歩けば人工知能が乱舞する時代に、われわれの知的生命体としての存在価値が問われている。本講義は、人工知能を可能にする情報技術の基礎を論じたのち、対比的に人間の思考の特性を論じる。講義の後半においては最先端の人工知能研究を紹介しつつ、人工知能とは何か、今後の知能研究の進む道を紹介する。同時に、アフォーダンスを中心として環境に埋め込まれた知性、身体性の重要性を論じる。	1.記憶とデータを基軸概念として機械の情報処理の特性を、人間の思考と対比的に説明できる2.表象と記号を基軸概念として、人間の思考の特性を機械の情報処理と対比的に説明できる3.人工知能の先端的システムとその内包する課題を理解できる	◎	○	
総合 共通 科目	情報文化論	1-2年生	後	メディア業界の経験を活かした授業展開を行います。現代社会に氾濫する情報を的確に読み解き、適切に対処するメディア・リテラシーを身につけ、高度情報化社会に対しての豊かな適応能力を備え、地域社会に貢献し、日本と世界を舞台として活躍できる人材の育成を目指します。	・メディアに関する幅広い知識を身につけることができます。・コミュニケーションの能力を身につけることができます。・現代社会に氾濫するメディア情報を的確に読み解き、適切に問題に対処するメディア・リテラシーを学ぶことができます。・新聞やテレビなどのマスメディアと、facebookなどのSNSについて学ぶことができます。	◎	◎	◎
総合 共通 科目	歴史と国際情勢	1-2年生	前	本講義では、初等・中等教育機関で学んだ「歴史」や「地理」、「公民」等の知識を踏まえて、それらを「グローバル・ヒストリー」の視点から再構成することを目的とする。「グローバル・ヒストリー」とは、「国家や民族の違いをこえて、世界中の人々が商業や文化で結びつくネットワークの歴史」(北村厚『教養のグローバル・ヒストリー』ミネルヴァ書房、2018年、3頁)であり、「世界を一体のものとする歴史」(『同』3頁)と定義した上で、「文明」(インダス文明、メソポタミア文明等)のおりから冷戦期までの歴史を「国際情勢」に留意しつつ、現代のそれとの連続面と断絶面を学修していくことにしたい。	①現代の国際情勢と過去のつながりを理解する。②「グローバル・ヒストリー」とは何かを説明できる。③現代の政治・社会・経済の中で用いられる専門用語を過去の「歴史」との比較の上で、理解・習得する。④「歴史」を学ぶ意義を理解する。	◎	◎	◎

総合 共通 科目	歴史と国際情勢	1-2年生	後	政治と国際問題を理解するために、国家とは何か、また、それはどのような政治的営みを行うか、国家以外にはどのような国際関係の主体があるかを明らかにする。また、国際政治に対する主要な理論(リアリズム、リベラリズム等)に触れ、それらの理論の出現に大きな影響を与えた第一次世界大戦等の歴史について学習する。現代の国際的な課題についても学習する。その結果、政治と国際問題に対する基礎的知識と能動的な思考能力を身につけることを目指す。	1. 国家をはじめとした国際政治の行為主体(アクター)についての基礎知識を身につけることができる。2. 国際政治に対する基本的な見方・理論を把握することができる。3. 国際政治の歴史および現状についての理解を深めることができる。	◎	○	
総合 共通 科目	現代国家と法(日本国憲法)	1-2年生	前	集团的自衛権、憲法改正、生前退位などによりここ数年急激に日本国憲法に注目が集まっている。しかしながらそもそも憲法は国家の基本法であり、これらの問題以外に私たちの日々の生活にかかわっている。日本国憲法の講義では日本国憲法の条文を知り、いかに日常生活とかかわっているのかを解説する。	・日本国憲法の条文がどう日常生活に関係しているのかを理解し、そして地域や社会の中にすでにある決まりについて日本国憲法の観点から課題や問題を発見し、改善方法を提案できるようになること	◎	○	○
総合 共通 科目	現代国家と法(日本国憲法)	1-2年生	後	「憲法とは何か」「現代社会において憲法はどのような重要性を持つのか」「人権にはいかなるものがあるのか」「国家のあり方に関する基本原理やルールとは」こうした基本的問題について解説しつくす。全体の構成としては、まず憲法とは何かについて概説した後に、前半部では人権に関する項目、後半部では統治機構に関する項目を主題として講義を行う。	[1] 憲法が現代社会や国民の生活においてどのような意味を持つのか説明できる。[2] 人権および憲法に関する諸問題について学び、社会現象と関連づけて思考できる。[3] 憲法に規定されている統治機構とその原理について説明できる。	◎	○	○
総合 共通 科目	暮らしと経済	1-2年生	前・後	インセンティブ、需要と供給、機会費用、消費者物価指数、経済成長率、所得再分配、GDP、量的緩和、マイナス金利、比較優位、消費税率引上げ、デフレーション、自由貿易等といった新聞やビジネス書によく出てくる「わかっていて、実はわかっていない」用語やわかりにくい「経済の理論や概念をやさしい言葉で解説する。また、できるだけ我々の日々の暮らしと生活に関係が深いテーマなどを通じて実社会の仕組みを理解し、より高度な経済学分野の専門知識の習得への橋渡しとすべく、基礎知識(レラシー)を固めさせる計画である。	テキストにあるイラスト+簡単な説明で、経済の仕組みに明るい学生になることができる。また、「身の回りにこういう事象があったな」と学生諸君の日々の暮らしに身近な事例の経済的な背景を理解することができる。さらに、一歩進んで、恋愛、就職、結婚、出産など人生の各ターニングポイントにおいて、どうしたらいいかを考え、最善の選択をするような経済的な知恵を身に付けることができる。	◎	○	○
総合 共通 科目	暮らしと経済	1-2年生	前・後	2つのテーマを扱う。①平穏な暮らしを送るためには、経済の安定は欠かせない。中でも日常生活に大きな影響を与えるのは、雇用と所得だから、国は「経済政策」を展開することで、より良い状態に近づけようとしている。そこで、こうした財政・金融政策が、どのような脈絡をたどって、最終的に雇用の創出や収入の増加に結びつくのか、について考察する。②グローバル化と、特に急速な人口減少が、経済と社会にどんな影響をもたらすかを、雇用・税・社会保障の3つの領域を素材に考察する。	① 財政政策と金融政策の意義・効果・特徴を理解する。② 財・貨幣・労働の3つの市場の内容・相互関係を説明できるようになる。③ 人口減少の原因と影響を理解する。④ 雇用・年金・税等、将来社会人として生活していく上で必要な基本常識を身に付ける。	◎	○	
総合 共通 科目	人権・同和教育	1-2年生	前・後	本授業は人権の歴史と現状を学びながら知識を深めるとともに、主体的に日常生活のなかに潜むさまざまな人権問題に気づき、問題を問題として見抜く感覚を身につけることを目標とする。個人的問題であるように見えるものは社会的問題でもある。差別や偏見などで苦しむ人びとの心の痛みに共感し分かち合い、多様な価値観を受け入れ、互いを尊重する社会の担い手となることをめざす。	1)人権に関する知識を深めることができる。2)人権感覚を身につけることができる。3)社会における事象を人権という視点から考えることができる。4)自己の考えを文章で表現することができる。5)批判的・論理的思考力を身につけることができる。	◎	◎	◎
総合 共通 科目	人間と哲学	1-2年生	前	たとえば、「自分が見ている世界は、他人が見ている世界と同じだろうか」と問われたら、あなたはどのようにこたえるだろうか。哲学は、普段当たり前だと思っていることを問う学問です。この授業では、この世界を人はどう捉えているのかを、さまざまな哲学者の考えを学びながら、一緒に考えていく。そして、自分と世界との当たり前の関係をあらためて問い直す力や、自分自身で深く考える力を身につける。	① 各哲学者が使っている言葉を理解し、各哲学者がその言葉を使って説明した人間と世界との関係を理解し、その理解を自分の言葉で他人に正確に伝えることができる。② 習得した知識を使って、世界を知るとはどういうことかや、私が存在するとはどういうことかということを自分なりに考えることができ、自分や他者が生きる世界を自分の言葉で説明することができる。	○	◎	
総合 共通 科目	人間と哲学	1-2年生	前	そもそも哲学とはどのような営みであったのか。この講義では、その始まりとなる古代ギリシアに立ち戻って、哲学の主要テーマや思考や対話のあり方について学ぶことを目的とする。具体的には、自然哲学、ソフィストの思想、およびソクラテスとプラトンの哲学を扱う。講義は各回の授業内容に沿って配布資料などを使いながら進めていく。哲学の始まりにおいて、哲学者と呼ばれる人たちが何を主要なテーマとし、どのように思考や対話を行ったのかについて、その手つきを多少なりとも学んでほしい。	①古代ギリシアの哲学におけるテーマや問題についての知識を身に着けることができる。②哲学や倫理学における基本的な思考法や主体的に思考する力を身につけることができる。③現代人の持っている常識や価値観から距離を置いて、先入見や偏見を持たずに、客観的に物事や思想を理解する力を身につけることができる。	○	◎	○
総合 共通 科目	人間と哲学	1-2年生	後	先が不安だといわれる現代社会において、自分らしく生きていくためにはどうすればよいのだろうか。現実と理想のはざまで、私が私らしくあるためにはどうすればよいのだろうか。この授業では、「この私」への問いを投げかける哲学を学びながら、自分で自分を見つめ、現代社会で生きる「私」のあり方を深く考える力を身につける。	① 各哲学者が使っている言葉を理解し、各哲学者がその言葉を使って説明した「この私」という存在について理解し、その理解を自分の言葉で他人に正確に伝えることができる。② 習得した知識を使って、現代社会を生きる「この私」の課題を検討し、社会の中で主体的に生きることについて自分なりに深く考えることができ、その考えを自分の言葉で説明することができる。	○	◎	
総合 共通 科目	人間と哲学	1-2年生	後	この講義では、生命倫理学の入門的な内容を取り上げる。生命倫理学とは、簡単に言えば、現代医療で起こっている様々な法的、道徳的、社会的問題を扱う学際的分野である。よくテーマとして挙げられる、生殖医療、臓器移植、終末期医療における具体的な問題を取り上げ、それをめぐる哲学的・倫理学的な議論について理解を進める。まず話の前提となる医学の初歩的な知識を確認し、それから生命倫理学の問題と議論に入っていく。	①現代医療で起こっている倫理的な問題と議論を理解することができる。②現代医療の哲学的・倫理学的な問題を自分なりに考え、自分なりの意見や視点を持つことができる。③思考能力に加えて、自分の意見を他の人にも理解してもらえようとはっきりと説明する能力を身につけることができる。	○	◎	○

総合 共通 科目	生命と地球	1-2年生	前・後	この講義であなたは壮大な地球の歴史を学ぶことができる。なぜ、ほ乳類は母親のお腹から産まれるようになったのか？なぜ人類は2足歩行を始めたのか？北米大陸の先住民と日本人の顔・姿が似ているのはなぜか？最新の研究によって明らかにされた46億年にわたる地球の歴史とそれに伴う生物の進化を学ぶ。70億人を超える人類は、たった35人の母親から始まったことはあまり知られていない。授業では、美しいコンピュータグラフィックスを駆使したを学術的番組を視聴しながら学ぶ。	①地球環境の激変によって生物の進化が促されたことが説明できる。②地球の自然環境の成り立ちと、現在の自然環境の問題点を理解できる。③進化における必要条件が理解できる。	◎	◎	◎
総合 共通 科目	心の科学	1-2年生	前	心理学は人間を対象に振る舞いについて一定の法則を見出すものです。目には見えませんが心を客観的に研究する学問です。本講義では主に「知覚」「記憶」「対人関係」「動機づけ」「思考」「青年期」「発達」「臨床」について授業を展開します。人間をより深く理解し自分の生活を見直し、大学生活を有意義に過ごすことを目指して授業をすすめていきます。・教員としての経験を活かし、分かりやすく説明します。・カウンセラーとしての経験を活かし授業を展開します。	・人の行動について基本的な知識を習得し、自分の生活に活かすことができるようにする。・心理学の各分野の概要が理解でき、自分の言葉で説明できるようにする。	○	○	◎
総合 共通 科目	心の科学	1-2年生	後	近年、心の健康問題は増加しており、社会的な問題として扱われることがある。本講義では、人かどうに世界を捉えようかといった認知的枠組みから、思考、感情、心の発達、対人関係、ストレスの問題、に至るまでの心理学に関する基礎的な知識についての解説を行う。講義内容によっては、グループワークを適宜活用し、心理学の体験的な学習も取り入れる。心の健康や不適応に関しては、実務経験に基づいた具体的な説明を行っていく。	・心理学の基礎的な知識を習得し、人の心の働きや動きについて理解を深めることができる。・人の心について理解を深めたことより、自分や他人を理解するといった自己理解・他者理解が出来る。・自己理解に基づき、自分自身の心の健康を保つことが出来るようになる。	◎	◎	○
総合 共通 科目	共生社会を生きる	1-2年生	前・後	地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて繋がることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指すものである。本講義では、協同教育とSDGsを根幹においた授業デザインで、防災・減災、社会のマイノリティや地域が抱える社会課題をテーマに講義を行い、身近な課題に気づく力、その課題を「自分ごと」として捉え、柔軟な思考力をもって、仲間と一丸となって探求し、解決する力を養う。（※仲間と共に探求する姿勢のない学生は受講不可）	・「共生」について理解し、社会の構成員として社会に貢献することができる。・他者とコミュニケーションをとり、協調することができる。・多種多様な考えを受け入れる姿勢を育て、他人ことを自分ごととして捉えることができる。・柔軟な判断力と決断力をもって、自助・共助・公助のリーダーシップやフォローアップをとることができる。	○	◎	◎
総合 共通 科目	日本語表現法Ⅰ	1年生	前・後	大学生になると、自分の考えを文章で表現する機会が増えます。試験で自分の考えを述べる問題に解答したり、レポートを作成したりします。そのため日本語表現の基礎となる語彙や文法、表記に関する知識を身につける必要があります。また社会では状況に応じた表現能力が求められ、適切な敬語の用い方やEメールの書き方などを知っておくことが必須となります。日本語表現法Ⅰでは、これらの知識・技能の習得を目指します。毎回の授業では、授業内容をふまえたワークシートに取り組み、知識の定着を図ります。	・わかりやすい文章表現に必要な語彙・文法の知識を身につけることができる。・授業で得た知識を活かして、説得力のあるレポートを書くことができる。	◎	○	
総合 共通 科目	日本語表現法Ⅱ	2年生	前・後	日本語表現法Ⅱでは、日本語表現法Ⅰで身につけた基本的な知識を発展させて、書くこと・話すことに関するより実践的な日本語運用能力の習得を目指します。資料の検索の仕方、レジュメの作り方、プレゼンテーションの行い方、またレポートの書き方など大学生活で必要とされる技術について学びます。さらに、小論文やエントリーシートの書き方といった就職活動で求められるスキルを身につけ、敬語でコミュニケーションする力など日本語運用に関する社会人基礎力を養います。毎回の授業では、ワークシートに取り組み、知識の定着を図ります。	・必要な資料を検索することができます。・レジュメを作成してプレゼンテーションを行うことができます。・レポートを書くことができます。・小論文やエントリーシートなど就職活動に必要な文書を書くことができます。・社会人として適切なコミュニケーションができます。	◎	○	
総合 共通 科目	伝わる文章力	2年生	前・後	社会人に必要な文章の「読解力」と「作成力」を身につけることを目的とした授業を展開する。具体的には、文章や資料を正確に読み解く力、自分の意見を文章で分かりやすく説明する力、手紙文やビジネス文書を作成する力を養成するため演習等を行う。また、上記の「読解力」および「作成力」の基礎となる漢字や語彙、敬語に関する知識の定着・向上のためのトレーニングや、ロジカルシンキングや文章要約に関する演習も行う。なお授業で扱う演習問題の難易度は、文章検定3級程度とする。	・社会人に必要な漢字や語彙を身につけることができる。・文章や資料から情報を正確に読み取ることができる。・説得力のある分かりやすい文章を書くことができる。・手紙文の構成と敬語のマナーを理解し、手紙やビジネス文書を作成することができる。	◎	○	
総合 共通 科目	英語Ⅰ	1年生	前	将来のキャリア形成に向けて、大学では就職試験やTOEICなどに対応し得る、より質の高い英語力が求められますが、英語力向上のためには基礎固めはいつの時点でも必要不可欠です。本科目では、英語において最も重要な動詞を中心として主要文法項目を復習し、それらの文法項目から成るシンプルな英文を読む、聞く、話す、書くという4技能のバランスのとれた向上を目指します。	①簡単な説明文を理解することができる。②日常生活の簡単な話題や平易な説明・指示を聞いて理解することができる。③日常生活に関する簡単な応答や意思表示をすることができる。④興味・関心のあることについて簡単な英文を書くことができる。⑤全体として、CEFR-J A1.3程度の到達度を目指す。	◎	◎	○
総合 共通 科目	英語Ⅰ（再）	1-2年生	後	本科目では、英語の基礎力を完全に身につけることを目標とします。基礎英文法を徹底的に学習し、様々な練習問題を解いていきます。語彙力の強化と理解度アップのために、毎回予習として、単語の意味調べや練習問題の解答を行って行くこと。また、授業の始めには、前回の学習内容をおさらいする小テストを実施します。	1. テキストに出てくる単語の意味を正しく理解することができる。2. テキストに出てくる英文を完全に理解することができる。3. テキストに出てくる文法事項を正しく理解し、運用できる。4. 授業で学習した内容について、60%の正答率をもって答えることができる。	◎	◎	○
総合 共通 科目	英語Ⅱ（再）	2年生	前	本科目では、英語の基礎力を完全に身につけることを目標とします。基礎英文法を徹底的に学習し、様々な練習問題を解いていきます。語彙力の強化と理解度アップのために、毎回予習として、単語の意味調べや練習問題の解答を行って行くこと。また、授業の始めには、前回の学習内容をおさらいする小テストを実施します。	1. テキストに出てくる単語の意味を正しく理解することができる。2. テキストに出てくる英文を完全に理解することができる。3. テキストに出てくる文法事項を正しく理解し、運用できる。4. 授業で学習した内容について、60%の正答率をもって答えることができる。	◎	◎	○

総合 共通 科目	英語Ⅱ	1年生	後	将来のキャリア形成に向けて、大学では就職試験やTOEICなどに対応し得る、より質の高い英語力が求められますが、英語力向上のためには基礎固めはいつの時点でも必要不可欠です。本科目では、英語において最も重要な動詞を中心として主要文法項目を復習し、それらの文法項目から成るシンプルな英文を読む、聞く、話す、書くという4技能のバランスのとれた向上を目指します。	①簡単な説明文を理解することができる。②日常生活の簡単な話題や平易な説明・指示を聞いて理解することができる。③日常生活に関する簡単な応答や意思表示をすることができる。④興味・関心のあることについて簡単な英文を書くことができる。⑤全体として、CEFR-J A1.3程度の到達度を目指す。	◎	◎	○
総合 共通 科目	英語コミュニケーションⅠ	2年生	前	英語ⅠおよびⅡで固めた基礎力を土台にして、日常的に使われる英文や英語表現を、語学学習における4技能を通してバランスよく学習しつつ、リスニングスキルとスピーキングスキルをさらに涵養することを目指します。アクティブ・ラーニングとして、発話練習、テキストで学んだ短会話の実践なども行います。英語圏諸国の基本的文化理解も、授業時間中に適宜行います。	①日常的に使われる英文や英語表現をスムーズに発音することができる。②基本的な英語での質問に応答できる。③テキストで学習した内容・パターンに似た短い英語会話を展開することができる。④英語圏諸国の文化について、基本的な事項を理解することができる。⑤授業で学習した問題において、得点の60％程度の取得を目指す。	◎	◎	○
総合 共通 科目	英語コミュニケーションⅡ	2年生	後	英語ⅠおよびⅡで固めた基礎力を土台にして、日常的に使われる英文や英語表現を、語学学習における4技能を通してバランスよく学習しつつ、リスニングスキルとスピーキングスキルをさらに涵養することを目指します。アクティブ・ラーニングとして、発話練習、テキストで学んだ短会話の実践なども行います。英語圏諸国の基本的文化理解も、授業時間中に適宜行います。	①日常的に使われる英文や英語表現をスムーズに発音することができる。②基本的な英語での質問に応答できる。③テキストで学習した内容・パターンに似た短い英語会話を展開することができる。④英語圏諸国の文化について、基本的な事項を理解することができる。⑤授業で学習した問題において、得点の60％程度の取得を目指す。	◎	◎	○
総合 共通 科目	TOEIC入門	1年生	前・後	本科目では、英語Ⅰまたは英語Ⅱと同時に進行で、TOEICに挑戦するために必要な基礎英語力を養いながら、TOEIC受験対策を実践的に行います。特に、350点程度のスコアを獲得できる語彙力、文法知識、リスニング力、読解力を身につけることに重点を置きます。また、TOEIC Bridge Listening & Reading IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testを受験することを目指します。	1. 学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestやTOEIC L&R IP Testを受験し、TOEICの出題形式に慣れる。2. 授業で学習したリーディング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。3. 授業で学習したリスニング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。4. TOEIC Listening & Reading IP Testにおいて、350点程度のスコアを獲得することができる。	◎	◎	○
総合 共通 科目	ドイツ語Ⅰ	1年生	前	新しい外国語にチャレンジする皆さんが、基本的なドイツ語の仕組みを理解し、簡単な日常会話ができるようになることを目指します。受講生の皆さんが、テキスト内の日常の会話シーンにひとつずつ触れながら文法体系を段階的に学習し、この新しい言語に自然に慣れ親しんでいくことができるように、簡単な会話パターンの練習や詳細な文法の説明をおこなった授業となります。ほとんどがローマ字読みで発音できる、新たに始めるのに最適なドイツ語を、一緒に学んでいきましょう。	ドイツ語Ⅰ、Ⅱでは、実際に使える基礎的言語能力(基本的なドイツ語の仕組みが理解でき、簡単な日常会話ができる)の獲得を目指します。ドイツ語Ⅰの目標は以下の4点です。 1.ドイツ語の正確な発音ができる。2.主語に従った動詞の現在人称変化ができる。3.名詞の文法上の性別を理解し、定冠詞及び不定冠詞を用いてその区別ができる。4.既習のドイツ語運用能力の範囲で他者とのコミュニケーションが図れ、その体験を通して世界情勢にも目を向ける意識を高め、他者を思いやり、他者と共に生きる力を獲得することができる。		◎	○
総合 共通 科目	ドイツ語Ⅱ	1年生	後	大学生になってドイツ語にチャレンジした皆さんは、これまでの授業ですでにドイツ語の基本が身につけ始めているはずです。これからも、テキスト内の日常の会話シーンにひとつずつ触れながら文法体系を段階的に学習し、この新しい言語に自然に慣れ親しんでいくことができるように、簡単な会話パターンの練習や詳細な文法の説明をおこなった授業となりますが、徐々に難しい事項も学びますので、さらに頑張ってください。	ドイツ語Ⅰ、Ⅱでは、実際に使える基礎的言語能力(基本的なドイツ語の仕組みが理解でき、簡単な日常会話ができる)の獲得を目指します。ドイツ語Ⅱの目標は以下の4点です。 1.名詞の格の概念を理解し、冠詞を用いて格変化させ、実際の文中で使用できる。2.特殊な現在人称変化を理解し、命令文とともに実際に使用できる。3.基本的な前置詞の意味と格支配を理解し、実際に使用できる。4.既習のドイツ語運用能力の範囲で他者とのコミュニケーションが図れ、世界情勢に目を向け、他者を思いやり他者と共生する力を獲得することができる。		◎	○
総合 共通 科目	中国語Ⅰ	1年生	前	この授業では、日常の表現を中心とした会話教材を使用し、発音と聞き取りの訓練を行うことによって、中国語発音の基礎と初歩的な文法を学習する。初めて習う外国語なので、あまり難しく考えず、教科書を暗誦できるくらいにじっくり練習する。	中国語の発音と文法の基礎的な知識を習得し、挨拶や簡単な日常会話ができる。また、中国語学習を通して、中国の文化をより深く理解できる。	◎	○	○
総合 共通 科目	中国語Ⅱ	1年生	後	この授業では、日常の表現を中心とした会話教材を使用し、発音と聞き取りの訓練を行うことによって、中国語発音の基礎と初歩的な文法を学習する。初めて習う外国語なので、あまり難しく考えず、教科書を暗誦できるくらいにじっくり練習する。	中国語の発音と文法の基礎的な知識を習得し、挨拶や簡単な日常会話ができる。また、中国語学習を通して、中国の文化をより深く理解できる。	◎	○	○
総合 共通 科目	韓国語Ⅰ	1年生	前	初めて韓国語を学ぶ学習者が基礎から学べる入門講義である。まず、ハングル文字と発音を少しずつ覚えながら、同時に韓国との文化の違いを理解し、日常生活の挨拶や決まり文句、身近な単語に慣れ、親しみ、きれいな発音で簡単な自己表現と相手とのやり取りができることを目指す。初めての文字と発音なので十分な練習とゆっくりとしたスピードで習得させていく。	1. ハングル文字と発音に慣れ親しみ、単語が読めるようになる。2. 日常挨拶や簡単な決まり文句が自然に言えるようになる。3. 名前、趣味、出身地などの基本的な自己紹介が言えて、書けるようになる。4. 日常の単語や相手の自己表現を聞いて、意味が分かり、質問と応答のやり取りができる。	◎	○	○
総合 共通 科目	韓国語Ⅱ	1年生	後	韓国語Ⅰで学習した内容を踏まえて、日韓の文化の違いを理解しながら、身近な事柄を表す単語や表現を用いて簡単なやりとりができ、より拡張した自己表現の文章が書けて、話せて、相手の話も理解できるようになることを目指す。	1. 単語、文章を正確な発音で読めるようになる。2. 自分や相手に関する事柄について、やりとりができるようになる。3. 簡単な文章が書けるようになる。4. 日韓の文化の違い、共通点を理解し、興味を持つようになる。	◎	○	○
総合 共通 科目	イングリッシュワークショップ	1年生	後	英語でのプレゼンテーション能力は、グローバル化する現代社会において必要なスキルの1つです。本科目では、英語のコミュニケーション・プレゼンテーション能力を磨くために、ネイティブスピーカーを中心とした集中講義の形式で、英語のみを使用して様々なトピックでのトークやディスカッションを行い、英語でアウトプットすることを積極的に促す授業を展開します。担当者(黒木、永松、 Doyle)	CEFR-J A2. 1 (やりとり・発表)程度の到達度を目指します。具体的には下記の通りです:1. 基本情報を伝え、簡単な意見交換ができる。2. 簡単な語句や文を使って、身近なトピックについて短い話をする事ができる。	○	○	◎
総合 共通 科目	海外研修	全学年	前・後	この科目は、国際交流・留学生支援室が募集する、短期海外研修プログラムに参加した学生に単位が与えられる科目です。英語や韓国語など、各協定校における語学研修プログラムを受講し、言語運用能力の向上を目指します。各協定校における語学研修プログラムでは、文法・聴解・読解・会話など、言語運用能力を向上させる4技能を、それぞれの協定校における手法で学習していきます。また、海外での語学学習だけでなく、その土地の文化を体験し、国際人としての教養を深めることを目指します。	1. 短期海外研修プログラムを通して、積極的に語学学習に取り組む姿勢を身につける。2. 短期海外研修プログラムを通して、その土地の文化を理解することができる。	◎	○	◎

総合 共通 科目	情報処理演習Ⅰ	1年生	前	インターネットやコンピュータを活用することは現代社会においては必要不可欠であり、それらを用いて情報収集・整理を行い、考えを主張していくことが社会人として身につけておく要素のひとつである。本科目はパソコンを実際に操作しながら初歩的なワードプロセッサや表計算・図形描画・電子メール・情報検索などを演習形式で繰り返し操作しながら体得していき、身近な情報機器を積極的に利用できるようにしていく。また、本学の情報処理施設の利用法を学ぶ最初の機会でもある。特殊な操作もあるがしっかりと習得していく。	1. コンピュータの基礎用語を理解し、基本的な利用方法を習得し説明できる。2. 簡単なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。4. インターネットを活用し、容易に情報を収集できる。	◎	◎	◎
総合 共通 科目	情報処理演習Ⅱ	1年生	後	前期に行った情報処理演習Ⅰから発展する形で、文書作成・表計算・プレゼンテーション資料作成の技量を高めていく。その流れの中で数学的基礎知識(主として統計学)や芸術的センスのイロハ(レイアウトや色彩感覚など)も踏まえた内容を学んでいく。キー入力速度についても技能向上を求めていく。コンピュータ用語としての英語も含まれて来るので、しっかりと理解し体得していく。情報処理演習Ⅰで行った内容は既に理解し実践できるという前提で物事が進んでいくので、過去の内容の「きちんとした振り返り」が必要となる。	1. コンピュータの基礎用語を理解し、基本的な利用方法を習得し説明できる。2. 簡単なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。4. インターネットを活用し、容易に情報を収集でき、その価値や真偽の判断を実践できる。	◎	◎	◎
総合 共通 科目	情報処理演習Ⅲ	2年生	前	インターネットやコンピュータを利用することは、現代社会においては必要不可欠であり、それらを用いて情報収集を行い、自分自身をアピールすることは社会人として身につけておく必要があります。本授業ではパソコンを実際に操作しながら、情報処理演習Ⅰ、Ⅱを基礎にワード、エクセル、プレゼンテーション、情報検索、統計処理などを演習形式で体得し、さらに理解を深め、応用力を高めることを目標としています。このように発展的なパソコンの使用能力を身に付けるために、最低限、Ⅰ、Ⅱのどちらかの単位は修得しておく必要があります。	1. コンピュータの使用法を理解し、発展的利用法を習得し他者に説明できる。2. 複合的なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。4. インターネットを活用し容易に情報を習得できる。	◎	○	◎
総合 共通 科目	情報処理演習Ⅳ	2年生	後	インターネットやコンピュータを利用することは、現代社会においては必要不可欠であり、それらを用いて情報収集を行い、自分自身をアピールすることは社会人として身につけておく必要があります。本授業ではパソコンを実際に操作しながら、情報処理演習Ⅰ、Ⅱを基礎にワード、エクセル、プレゼンテーション、情報検索、統計処理などを演習形式で体得し、さらに理解を深め、応用力を高めることを目標としています。このように発展的なパソコンの使用能力を身に付けるために、最低限、Ⅰ、Ⅱのどちらかの単位は修得しておくことが望ましいです。	1. コンピュータの使用法を理解し、発展的利用法を習得し他者に説明できる。2. 複合的なレポート作成とそのプレゼンテーションができる。3. コンピュータを積極的に利用し、日常生活に活用できる。4. インターネットを活用し容易に情報を習得できる。	◎	○	◎
総合 共通 科目	職業とコミュニケーション	1年生	後	本学卒業後の進路(職業選択等)に向けて、大学では何を学び、どのような大学生活を過ごすのか、そしてどういう人生を送りたいのかについて考える。様々な分野、業種で活躍している学外の講師の話を聴き、社会での行き方や働くことの意義を考える。また、グループディスカッション、プレゼンテーションなどを通して、働く上での「コミュニケーションの重要性」を理解する。	1.職業について考えることができる。2.働く上での「コミュニケーションの重要性」を知る(会話力だけではなく)ことができる。3.卒業生から見える「職業選択のあり方」を知ることができる。	◎	○	◎
総合 共通 科目	キャリアデザインⅠ(再)	3年生	前	この授業では、社会を理解し、職業人としての意識付けを明確にするために、仕事・就職を中心に将来の自分の姿を思い描き、社会人としての満足について説明します。また、グループワークの取り組み、プレゼンテーション能力の向上を目指します。自分の職業に対する適性について詳しく分析し、就職活動に向けた準備を進めます。さらに、インターンシップへの参加の準備も支援します。	1)将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができるようになる。2)問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。3)自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。4)働く意味の認識ができ、将来計画を立てる能力を身に付けることができる。5)参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。	◎	◎	○
総合 共通 科目	キャリアデザインⅠ	2年生	後	■本科目のシラバスについては、初回授業までにお知らせいたします。■この授業では、大学から社会へ出るための準備を行います。①受講者の個性を適性検査で再認識し、社会に貢献する方法を考える。②本学先輩から就職活動に関する体験談を聴き、社会に出るための情報を整理します。③インターンシップや企業訪問に関するマナーや知識を身につけます。④就職試験を想定し、数学基礎に関する演習を実施します。	①受講者が自身の将来像を描き、自己分析から自分自身を知る。②社会に関心を持ち、採用活動に関わる情報を取得できる。③採用活動に関するスケジュールを理解し、現在、どんな活動ができるか理解する。④採用試験で問われる数学の実力を理解し、一般的な正答率まで引き上げる。	◎	○	○
総合 共通 科目	キャリアデザインⅡ(再)	4年生	前	この授業では、社会を理解し、職業人としての意識付けを明確にするために、仕事・就職を中心に将来の自分の姿を思い描き、社会人としてのあるべき姿について学びます。また、グループワークに取り組み、プレゼンテーション能力の向上を目指します。そして、自分の職業に対する適性について詳しく分析する就職活動へに向けた準備を進めます。さらに、インターンシップへの参加準備も支援します。	1)将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができる。2)問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。3)自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。4)働く意味の認識と将来計画を立てる能力を身に付けることができる。5)参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。	◎	○	◎
総合 共通 科目	キャリアデザインⅡ (民間①)	3年生	前	本講義は、自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。社会で求められる人物像や職業についての理解を深めながら、自己に適した職業を明確にするとともに、将来に向けての準備(就職活動)を行っていきます。そのため、講義だけでなく、個人ワークやグループディスカッションなどを取り入れた授業を実践的に展開していきます。	①現在の就職環境について理解している。②今までの学生時代をふりかえり自己分析ができる。③論理的思考力が取得できる。	◎	○	◎
総合 共通 科目	キャリアデザインⅡ (民間②・③)	3年生	前	本講義は、自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。社会で求められる資質や職業についての理解を深めながら、自己に適した職業を明確にするとともに、将来に向けての準備(就職活動)を行っていきます。特に前期では、過去の経験を振り返りながら、自身の強みや自分とはどんな価値観を大事にしているかなど、自己分析を通じて考えていきます。	①現在の就職環境について理解できる。②就職総合適性検査の結果をもとに自分の性格的傾向を掴むことができる。③今までの学生時代をふりかえり、自己分析ができる	◎	○	◎

総合 共通 科目	キャリアデザインⅡ (公務員)	3年生	前	この授業では、地方公務員を目指す学生を意識した授業を実施する。なお、教員の地方自治体での勤務経験を踏まえ、自治体職員の現状と課題やこれからの自治体職員に求められることなどについて具体例を踏まえた説明を行う。また、自治体職員といってもその職種は幅広いため、行政職(事務職)の仕事を中心に自治体職員としての資質向上や地域貢献に対する心構えなどが理解できるような解説も行う。	①社会人としての基礎を身につけ、学生生活をその準備期間と位置付けた生活態度が醸成される。②地方公務員、特に基礎自治体職員の働き方や自治体の仕組み、地域社会との関わり等を理解できる。③卒業後に公務員となる姿をイメージし、意欲をもって学業に取り組むことができる。	◎	○	◎
総合 共通 科目	キャリアデザインⅡ (教員)	3年生	前	キャリアデザインⅡ(スポーツ・教職クラス)は教員を目指すものが受講するクラスである。教職課程を選択しているから義務であるというわけではない。一般就職も考えているものは他のクラスへ移動してよいことになっている。逆に言うと「教育職員以外の進路を選ばない」学生は、このクラスでの受講になる。	教員になるとはどういうことが理解できる。教員という仕事が理解できる。他の職業を選ばない理由が明瞭に説明できる。	◎	○	◎
総合 共通 科目	キャリアデザインⅢ	3年生	後	本講義は、自らが希望する卒業後のより良い進路を獲得するためのものです。社会で求められる人物像や職業についての理解を深めながら、自己に適した職業を明確にするとともに、将来に向けての準備(就職活動)を行っていきます。そのため、講義だけでなく、履歴書の作成や学内業界研究セミナー、集団面接会などを取り入れた授業を実践的に展開していきます。	①現在の就職環境について理解している。②今までの学生時代をふりかえり自己分析ができる。③論理的思考力が取得できる。	◎	○	◎
総合 共通 科目	キャリアデザインⅢ(再)	4年生	後	この授業では、これまでの自己分析をもとに将来(未来)設計を行い、その実現のために必要なスキルアップを目指します。自らの能力を生かすことのできる進路を検討し、卒業後の具体的な目標について考え、自らの就職活動の計画を作成する中で、自分の課題を明確にできるようにします。また、グループワークに取り組み、コミュニケーション力と企画運営能力の向上を目指します。それぞれの目標とする業界について個人研究することも求めます。	1)将来に向け、充実した大学生活を送るための基礎づくりができる。2)問題発見・解決、提案(コミュニケーション)、実行などの就業力を身に付けることができる。3)自己分析を通じた自己理解能力を身に付けることができる。4)働く意味の認識と将来計画を立てる能力を身に付けることができる。5)参加型授業による自己認識と学校だけでは得られない職業観を身に付けることができる。	◎	○	◎
総合 共通 科目	インターンシップ(企業研修)	2年生	前・後	本授業は、夏期(冬期・春期)期間中の3日～7日程度、希望する企業・事業所等で就業体験(インターンシップ)を行います。期間は実習先によって異なります。単にインターンシップに参加することが目的でなく、就業体験を通じて働くことを軸とした価値形成を育み、大学在籍中に自らの将来の人生設計(キャリア開発)を描くための気づきを得ます。また、社会の様々な事業所等で就業体験を積むことによって新たな学習意欲を喚起し、自主的に考え行動できる力を養っていきます。	①就業体験を通じて実社会の経済活動がどのように動いているのか実態を把握することができる。②社会人として基本的なマナー、態度、スキル、知識を身につけることができる。③卒業後のキャリアについて「仕事」「働く」ことを具体的に検討することができる。	○		◎
総合 共通 科目	スキルアップ講座A(ITパスポート)	3年生	後	今の情報化社会では事務系・技術系、文系・理系などを問わずITの基礎知識を持ち合わせていなければならない。本科目では、独立行政法人・情報処理推進機構が実施する国家試験ITパスポート試験の出題テーマを題材とし、これから必須となるITに対する素養と知識・スキルの習得を目指す。	①情報社会の現状を理解し、この情報社会において自分に必要となるスキルレベルを自覚することができる。②どのようにすれば必要となるITに関する知識やスキルを身に付けることができるのかを知っている。③ITパスポート試験の過去問題に対して60%以上正答することができる。	◎	○	○
総合 共通 科目	スキルアップ講座B(TOEICⅠ)	2・3年生	前	TOEICのスコアは就職活動時に利するのみならず、社会人としての様々な場面でのキャリア形成にも非常に有効です。本科目では、TOEICの初級・中級者向けに、試験の特色を把握し、各パートの問題形式に慣れるため、重要な文法事項・語彙・語句で構成された比較的易しい問題を使って、実践的な受験対策を行います。また、学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testの受験を目指します。	1. 学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testを受験し、TOEICの出題形式に慣れる。2. 授業で学習したリーディング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。3. 授業で学習したリスニング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。4. TOEIC Listening & Reading IP Testでは400点程度のスコアが獲得できる。	◎	◎	○
総合 共通 科目	スキルアップ講座C(TOEICⅡ)	2・3年生	後	本科目では、スキルアップ講座Bに続き、TOEICの初級・中級者が各パートに必要な英語力をさらに高めるため、頻出する語彙・語句や文法知識を身につけるとともに、問題に対してより早く正確に解答するコツを身につける実践的な受験対策を行います。また、学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testの受験を目指します。	1. 学内で実施されるTOEIC Bridge IP TestやTOEIC Listening & Reading IP Testを受験し、TOEICの出題形式に慣れる。2. 授業で学習したリーディング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。3. 授業で学習したリスニング・パートの内容について、60%の正答率をもって答えることができる。4. TOEIC Listening & Reading IP Testでは450点程度のスコアが獲得できる。	◎	◎	○
総合 共通 科目	スキルアップ講座G(公務員養成Ⅰ)	3・4年生	前	・国家および地方公務員の職種、存在意義を正しく理解するとともに、公務員になるために必要な数的処理基礎能力を養成する。	・公務員になるために必要な事務処理能力を習得することができる。・公務員になるために必要な論理的思考力を身につけることができる。	◎		○
総合 共通 科目	スキルアップ講座H(公務員養成Ⅱ)	3・4年生	後	公務員になるために必要な数的処理能力をより高めるとともに、論理的、かつ多角的な思考能力を養成する。	さまざまな公務員試験に対応できる、高い数的処理能力を習得することができる。	◎	○	
総合 共通 科目	スキルアップ講座R(TOEICⅢ)	3・4年生	前	スキルアップ講座B・C(TOEICⅠ・Ⅱ)からさらに発展的なTOEIC受験対策の英語学習を実践的にを行います。特に500点程度のスコアを取得するのに必要なリスニング力とリーディング力を身につけることに重点を置き、様々なTOEIC形式の問題に取り組みます。また、実際にTOEIC Listening & Reading IP Testの受験を目指します。	1. 学内で実施されるTOEIC IP Testを受験し、TOEIC高得点を目指す。2. リーディング・パートに出てくる内容に、75%の正答率をもって答えることができる。3. リスニング・パートに出てくる内容に、75%の正答率をもって答えることができる。4. TOEIC L&R IP Testにおいて、500点程度のスコアを獲得することができる。	◎	◎	○
総合 共通 科目	スキルアップ講座S(TOEICⅣ)	3・4年生	後	スキルアップ講座R(TOEICⅢ)と同様に、発展的なTOEIC受験対策の英語学習を実践的にを行います。特に550点程度のスコアを取得するのに必要なリスニング力とリーディング力を身につけることに重点を置き、様々なTOEIC形式の問題に取り組みます。また、実際にTOEIC Listening & Reading IP Testの受験を目指します。	1. 学内で実施されるTOEIC IP Testを受験し、TOEIC高得点を目指す。2. リーディング・パートに出てくる内容に、75%の正答率をもって答えることができる。3. リスニング・パートに出てくる内容に、75%の正答率をもって答えることができる。4. TOEIC L&R IP Testにおいて、550点程度のスコアを獲得することができる。	◎	◎	○